

概要 要：美里町の避難施設である「駅東地域交流センター」に太陽光発電設備および蓄電池を整備。地震による停電に対して、蓄電池が稼働し、避難所運営に貢献。

対策名：105 災害時に役立つ再エネ・蓄エネシステムに関する緊急対策＜3か年緊急対策＞

府省庁名：環境省

■ 実施主体：宮城県美里町

■ 実施場所：宮城県美里町

■ 事業概要：美里町の避難施設である「駅東地域交流センター」に、太陽光発電設備と蓄電池を整備。

■ 事業費：5200万円
(うち3か年緊急対策による事業費3900万円)

■ 効果：
「令和4年福島県沖を震源とする地震」により、美里町では震度5強を観測、町内全域で約7時間にわたる停電が発生。

- 日中に太陽光発電で発電した電力を蓄電池に充電
- 商用電力が停電しているなかで、蓄電池より電力供給を行い、円滑に避難者の受入準備を実施。

＜発災当日の状況＞

地震発生により緊急参集した職員が、商用電力からの停電を確認。蓄電池からの電源に切替えをして事務所内の電力を確保



写真提供：美里町



事務所の照明が点灯、避難者の受入れが可能に

写真提供：美里町